

『説明する意欲を高めるための指導法の研究』

～正の数・負の数の単元における

対話形式のプリントを書く活動を通して～

1. 設定理由

授業を行っているときに生徒の「表現力」の低下を感じる場面がある。例えば、自分の意見を発表する場面でも結論だけを述べ、その理由を明確に答えられない生徒も多く見られる。日々の授業でも途中式が書けない・書こうとしない、証明問題になると諦めてしまい取り組もうともしない生徒も少なくはない。さらに、平成22年度に行われた全国学力・学習状況調査の数学B(活用)の調査結果では、「数学的な表現を用いて説明する」分野の正答率では低い結果が出ている。しかし「説明する力」を身につけさせるためには、「他人に説明するための練習」が必要である。そこで、単に「解ける」「できる」だけではなく理解したことを他人に伝える喜びを感じさせるとともに、「説明する意欲を高める」ことであろうと考えた。説明する意欲を高めることにより、数学的な表現に慣れ、数学的な表現の良さを実感できるであろうと考え研究主題を設定した。

2. 研究仮説

対話形式によるプリントを繰り返し活用することで、考えていることをまとめることができ、説明することへの意欲が高まるであろう。

3. 研究内容

- (1) 表現力とは
- (2) 説明する意欲を高めるための手立て

4. 結論

- (1) 説明する形式のプリントを作成し活用したことにより、友人などに説明するための表現力が身につく、説明する意欲が向上し、説明方法を工夫する生徒が出てきた。また、「説明する力」・「まとめる力」の向上に繋がった。
- (2) プリントだけでなく授業でも教え合い学習を取り入れたことにより、友人に理解してもらえたときの喜びを味わうことができた。その結果、授業でも積極的に「教えてあげようか?」という発言をする生徒が増え、説明する意欲が向上した。